

二〇二四年度 聖ドミニコ学園中学校入学試験（第1回）

国語

50分

◎ 次の注意事項^{じこう}を読んでください。

- 1 試験開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題は全部で9ページあります。
- 3 解答用紙は問題用紙にはさんであります。
- 4 解答用紙に受験番号、氏名を書いてください。
- 5 答えはすべて解答用紙に書いてください。
- 6 字数は、句読点や「」など記号もすべて一字に数えます。

【一】 次の〰線の漢字は読み方をひらがなで答え、――線のカタカナは漢字に直しなさい。

- ① 入院している友人へ花束をとどける。
- ② 友人は音楽について豊富な知識をもっている。
- ③ 災害からの復興に向けて活動を行う。
- ④ 練習の成果をじゅうぶんに發揮した。
- ⑤ ヨーロッパ諸国の歴史について調べる。
- ⑥ 明日はシヨウゴに駅前集合しよう。
- ⑦ ネンガンがかなって旅行に行けた。
- ⑧ サイテイでも十人は集まるだろう。
- ⑨ ミンシュ的な方法でルールを決めよう。
- ⑩ 東京都にハツユキが降るといふ予報が出た。
- ⑪ 植物はサンソをつくりだす役割をもつ。
- ⑫ 警察官としてのニンムを果たす。
- ⑬ 今月は小麦粉のシヨウヒ量が増えそうだ。
- ⑭ 教室の金魚のシイク係に立候補する。
- ⑮ 日本における植物のブンブ図を作成する。
- ⑯ 光がハンシヤする様子を観察する。
- ⑰ 地図とジシヤクを使って方角を確かめる。
- ⑱ 校外学習のため授業時間をタンシユクする。
- ⑲ 日本のケンポウに照らし合わせて考える。
- ⑳ 兄はセイジツな仕事をほめられたそうだ。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世界中を妖怪が徘徊（はいかい）（注1）している、生成系AI（人工知能）という妖怪が――。米オープンAIのChat（チャット）GPTなど昨今の生成系AIを巡る大騒動は、さしずめこんなところだろうか。

確かにこれらは革命的な技術だが、少し落ちていて向きあつた方がよいと思う。人がAIに取って代わられるとか、全面禁止せよとか、そういう拒絶的な反応は見当外れだ。

大事なのは、この技術を使いこなすためにはどうすべきかを考えることだ。教育の場面に關していえば広く深い教養を身につけることがなによりも重要なのは今までと変わらない。

話をChatGPTに絞ろう。その衝撃は、AIがついに自然な言葉のやりとりができるようになったことにある。何か質問すれば、①「たちどころにそれらしい答えを返してくれ、時にはこちらの考えの間違いを教えてくれることもある。人と普通にオンラインチャットをしているのとほとんど区別がつかない。

現代コンピュータ科学の元祖の一人、英国のアラン・チューリングは、機械が知能を持っているかどうかを判定する基準として、日常会話を人間と同じようにできることというチューリング・テストを提唱した。ChatGPTはこれに合格しそうな勢いである。「A人工知能が人間に並んだ、もうすぐ追い越されるのか？」と浮足立つのも無理からぬところではある。

②なぜ日常会話がAIにとって難しかったのか。すでにAIが人を追い越したチェスや囲碁将棋とは異なり、日常会話には明確なルールや目的がないからだ。

「良い会話」を実現するための明確な手続きなど存在しない。そもそも何が良い会話なのかという判断は人によってさまざまだし、場面によっても大きく違う。日常会話とは、ルールも目的も場面もすべてがオープンな、とてつもなく複雑な空間の中をさまよい歩く行為なのである。

現在のAIとは、つまるところ一定の評価基準にもとづく統計的な計算である。だから日常会話のような、目的もルールも曖昧で判定基準がよくわからない行為をそれらしくこなすのは、もつとも苦手な作業のひとつだった。しかしChatGPTは、このハードルを突破したかに見える。それだけの高度な計算力と、AIの学習を指導するマンパワーを、巨額の資金で実現したからである。

しかしそれでも、ChatGPTには明確な限界がいくつかある。そのひとつは、学習の対象になっている情報がインターネット上に限られていることだ。

ネットは広大な膨大な情報の宝庫だが、すべてではない。インターネットに「ない」情報で、私たちの知性や生活を成り立たせるのに重要な情報も多い。

B「ものそのもの」についての情報。服の生地の手触り、食べ物（か）の風味、今日の天気（こ）の心地よさ……。こういった身体感覚やそれを介してのコミュニケーションも、知能を構成する重要な要素である。しかしChatGPTには「身体知」がない。

身体知は人間の知能に不要だろうか？ そんなことはない。もともと知能とは生物が外界環境の情報を分析し、自分たちにとって適切な反応を行うための手法として進化してきたものだ。

だから人間の知能は人間の生存や繁殖に都合の良いようにデザ

インされている。**C**人類は好奇心が旺盛なので、その知能を
少しずつ発展させ、もはや生存戦略とはほとんど関係ない数学や論
理的推論などの体系を構築してきた。

人間はこれらの記号操作能力が他の動物より格段に優れている
で、知能・知性といえは記号操作のことかと思いたがるフシがあるが、
それは知能の一部ではない。今一度、知能の根本を見直すべきで
はないか。**1**

ChatGPTのもうひとつの限界は、その学習が**③**「頭打ちにな
る」可能性だ。学習の対象がネット上のデータに限られている以上、
いつか壁にぶち当たる。英語のように情報量が多い言語であればま
だよいが、日本語はこの点で不利だ。

今のところ限界がくる兆しはなく、データを増やせば増やすほど
賢くなるという状況だが、この傾向がいつまでも続くという理
論的根拠はない。どこかでAIの学習が頭打ちになると考える方が
自然だ。**2**

つまるところChatGPTは、ネット上の膨大な情報を収集し
て私たちの質問に「適当に」回答する記号操作にたけた装置だ。「適
当に」というのは、要求に合っているという良い意味と、その場を
取り繕ってそれらしく見せるという悪い意味の両方である。**3**
この革命的な技術を使いこなすために私たちに必要なのは何か。

その「適当さ」を見抜き、だまされないこと。**4**

つまり、さまざまな情報の中から自分たちにとって有用で意義の
あるものを、事実と証拠にもとづいて合理的な判断基準で選抜で
きる力を身につけることである。そしてそれは、本を読んで必要な
知識を取捨選択して身につける能力と、根っこの部分では変わりは

ない。ChatGPTを恐れることはないし、むやみと礼賛（注2）
することもない。ほどほどに付き合っていこう。

（佐倉統「生成AI、教育に生かすには」

「日本経済新聞」二〇二三年五月三十日朝刊）

（注）

- 1 徘徊…あてもなく、うろうろと歩き回ること。
2 礼賛…すばらしいものとして、ほめたたえること。

問一

——線①「たちどころに」・③「頭打ちになる」の意味とし
て適当なものを次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えな
さい。

①「たちどころに」

- ア すぐさま。 イ ゆっくりと。
ウ 何回でも。 エ 一回だけ。

③「頭打ちになる」

- ア まちがっている方向へ進むことがある。
イ こちらの予想よりも順調に進みすぎる。
ウ ひどいけがや事故を起こす原因となる。
エ 一定のレベルから上にあがらなくなる。

問二

A **C**に入る言葉として適当なものを次から一つ
ずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を
くり返し使うことはできません。

- ア たとえば イ けれども ウ ついに エ もしも

問三 ―線②「なぜ日常会話がAIにとって難しかったのか」とありますが、その理由を説明した次の文の【X】と【Z】に入る言葉を後の【語群】から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

日常会話には明確なルールや【X】がなく、また、何が良い会話かという【Y】は、人や【Z】によって異なるから。

【語群】 ア 技術 イ 判断 ウ 目的
 エ 場面 オ 教育

問四 次の一文は、本文の【1】と【4】のどこかに入ります。適当な場所を一つ選び、1～4の番号で答えなさい。

そしてそれを、私たちに必要な、良い意味での「適切さ」に変換する能力を身につけることだ。

問五 次のア～エについて、本文の内容に合っていたら「○」、合っていないければ「×」とそれぞれ答えなさい。

ア 人間の仕事がうばわれてしまうかもしれないので、AIの利
用は禁止するべきだ。

イ 生成系AIの技術を使いこなすためにはどうすればよいかを
考えることが大事だ。

ウ 機械が知能を持っているかどうかは、その計算能力の速さによつて判定できる。

エ ChatGPTは、インターネット上に存在しない情報に
しては学習できない。

問六 〰線「身体知」とは、本などで学んだ知識ではなく、自分が体を動かして学んだことや、他の人と直接コミュニケーションをして学んだことなどを意味する言葉です。これについて、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 「身体知」の具体例として適当なものを次から二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 一年前までは自転車に乗れなかったが、練習を重ねるうちに一人で乗れるようになったこと。

イ 運動会のリレーで勝つために、バトンのわたし方が上手な友達にこつを教えてもらったこと。

ウ 友達へスマートフォンでチャット機能でメッセージを送つて、明日からの予定を聞いたこと。

エ 映画館で海外の映画を見て、世界には自分が見たこともない風景がたくさんあると知ったこと。

(2) あなたにとつての「身体知」とは何ですか。それを学ぶきっかけとなった体験や経験と合わせて説明しなさい。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係でこの問題は掲載できません。